[表　紙]

様式１

「救急の現場にて傷病者が早く正しい医療を受療できる技術開発プロジェクト」に対する提案書

研究開発項目

「〇〇〇〇〇」

平成２８年○○月○○日

機関名　　○○○○○大学

代表者名　　○　○　○　○　　　　　　　　　　　印（又はサイン）

*※（大学等の場合は学長等、企業等の場合は代表取締役社長）*

所在地　　○○県○○市・・・・・　　（郵便番号○○○－○○○○）

連絡先　　所　属　○○○部　△△△課

　　　　　役職名　○○○○○部長

　　　　　氏　名　○○　○○

　　　　　所在地　○○県○○市・・・・・・（郵便番号○○○－○○○○）

*※　連絡先が所在地と異なる場合は、連絡先所在地を記載*

　　　　　ＴＥＬ　△△△△－△△－△△△△（代表）　内線　△△△△

　　　　　ＦＡＸ　△△△△－△△－△△△△

　　　　　e-mail　\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*

|  |  |
| --- | --- |
| e-Radにおける研究機関コード（１０けた） | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 |

研究開発提案書記入要領

・記入の際は10.5ポイント以上の文字等を使用してください。（図表の中の文字等を除く）

・色つき文字は説明ですので提出の際には、前頁提案書を含め削除されている必要があります。

救急の現場にて傷病者が早く正しい医療を受療できる技術開発プロジェクト

研究開発提案書

*本表はA4用紙２ページ以内で記載してください。*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究開発課題名 | *提案する研究開発内容をイメージしやすい名称をつけてください。* | | |
| 研究開発代表者 | 氏名（フリガナ）：  所属機関　役職：  住所：〒  E-mail：  TEL：　　　　　　　　　　　　　FAX： | | |
| 事業化担当責任者  *事業化担当責任者を記載してください。* | 氏名（フリガナ）：  所属機関　役職：  住所：〒  E-mail：  TEL：　　　　　　　　　　　　　FAX： | | |
| 研究目的 | *・1000文字以内（改行、スペース含む）で入力してください。*  *※採択時には、AMEDホームページ等で公表されることがあります。* | | |
| 研究概要 | *・1000文字以内（改行、スペース含む）で入力してください。*  *※採択時には、AMEDホームページ等で公表されることがあります。* | | |
| 研究開発期間 | 2016年　月(平成28.　)　～　　2019年　3月(平成31.3) | | |
| 希望する研究開発費（円） | 年度 | 研究開発費合計額  *６．経費の【全体表】の各年度の「研究開発費合計額」を記載してください。* | うち、直接経費  *６．経費の【内訳表】の「直接経費小計」の各機関合計額を記載してください。* |
| 平成28年度 | XX,XXX,XXX　円 | XX,XXX,XXX　円 |
| 平成29年度 | XX,XXX,XXX　円 | XX,XXX,XXX　円 |
| 平成30年度 | XX,XXX,XXX　円 | XX,XXX,XXX　円 |
| 連絡窓口  *本提案に関する連絡・問い合わせ等の窓口となっていただく方を記載ください。* | 氏名（フリガナ）：  所属機関　役職：  住所：〒  E-mail：  TEL：　　　　　　　　　　　　　FAX： | | |

研究開発の内容［要約版］

*・研究開発の内容について、開発する物をイラストまたはブロック図などで中央に示し、その目的・作用/動作・成果（従来技術ではなしえなかった到達点）を簡潔に図示して下さい。*

*（例）*

*従来から行われている××の方法でなしえなかった××の操作ができる。*

*従来から行われている××の構成では無く××と××により構成されている。*

*従来から行われている××の方法でなしえなかった××の成果が得られる。*

*従来から行われている××の方法では××という課題があった。*

*表示/結果*

*操作*

*開発物*

*（複数ある場合でも簡潔に表現して下さい）*

*従来から行われている××の方法でなしえなかった××が行える。*

*作用/動作*

*試料/対象*

（注）研究開発の内容［要約版］は**A4用紙１ページ以内**にまとめてください。

利害関係の確認について

* AMEDは、採択審査にあたり大学・研究機関・企業等の外部の有識者による事前審査を開催します。この事前審査では公正な審査を行うことはもちろん、知り得た提案情報についても審査以外の目的に利用することを禁じております。
* さらに、事前評価委員の選定段階で、AMEDは利害関係者を排除すべく細心の注意を払っているところですが、さらに事前評価委員本人にも事前に確認を求め、より公平・公正な審査の徹底を図ることといたしております。
* そこで、提案者の皆さまには、事前評価委員に事前提供する情報の記載をお願いいたします。本書類にていただいた「提案者名」、「研究開発テーマ」及び「技術的なポイント」を事前評価委員に提示し、自らが利害関係者、とりわけ競合関係に当たるかどうか、の判断を促します。技術的なポイントについては、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを問題ない範囲で記載いただけますようお願いいたします。
* また、AMEDが事前評価委員を選定する上で、利害関係者とお考えになる者がいらっしゃる場合には、任意で記載いただいても構いません。なお、事前評価委員から、利害関係の有無の判断がつかないとのコメントがあった場合には、追加情報の提供をお願いする場合がございますので、ご協力をお願いいたします。

|  |
| --- |
| （提案者名）  *○○株式会社　◎◎株式会社・・・　（複数の参加法人をもれなく併記してください。）* |

|  |
| --- |
| （研究開発テーマ）  *○○の研究開発* |

|  |
| --- |
| （技術的なポイント） |

|  |
| --- |
| （利害関係者とお考えになる方がいらっしゃる場合には、任意で御記載ください。） |

１．基本構想

*・評価者が理解しやすいように、必要に応じて図や表を用いて記載してください。*

*・****A4用紙4ページ以内で記載****してください。*

（０）基本計画 １．（２）に記載の課題①～⑤のどの課題に取り組むのか

　　　　課題①　　課題②　　課題③　　課題④　　課題⑤

*該当する課題番号を残して，該当しないものは削除して下さい。*

（１）提案者が想定する未来の救急の姿

*本研究開発の重要性・必要性が明らかとなるよう、目標となる未来の救急の姿（開発期間２～３年、実証期間３年の５～６年後の姿）を想定し、当該分野や関連分野の動向、現在の救急制度等を踏まえて記載してください。*

（２）未来の救急の姿を踏まえた現状と課題

*（１）提案者が想定する救急の未来の姿を踏まえて、現在を振り返ったときの現状と課題を科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業の要請および、当該分野や関連分野の動向等を適宜含めて記載してください。*

（３）提案する開発品の概要と課題解決の方法

*（２）未来の救急の姿を踏まえた現状と課題に対して、開発品の概要とその開発品をどのように活用して課題を解決しようとするのかを記載して下さい。*

（４） 研究開発の将来展望

*（１）提案者が想定する救急の未来の姿の達成を端緒として、将来実現することが期待される、新産業創出・社会貢献等、国民生活や経済社会への波及効果（対象患者数、獲得する市場規模、社会保障費削減等）を、想定し得る範囲で記載してください。*

（５） 研究開発の目標

*研究開発目標（本プロジェクト期間中の中間目標、最終目標）を基本計画に沿って定量的（「○○を実施する」、ではなく「○○を●●（数値）達成する」等）に記載下さい。最終目標については開発がどこまで進めば実証可能となり、どのような実証実験が想定されるのかを念頭に記載下さい。*

２．研究開発の内容

*・「１．基本構想（２）未来の救急の姿を踏まえた現状と課題」に記載された課題を解決するための研究開発のアプローチ、「１．基本構想（３）提案する開発品の概要」に記載された開発品を実現するための具体的手法、進め方、研究開発期間中の研究開発の到達点とその達成度の判断基準などを、主要な研究開発項目毎・年度毎に記載してください。分量は****A4用紙３ページ以内で記載****してください。*

*・下記項目（（１）（２）…）の表題（○○装置作成等）と５．研究開発の主なスケジュールの「研究開発項目」は文言・記載順序ともに一致させてください。*

*・担当者ごとの記載は、「４．担当別　研究開発概要」に記載してください。*

（１）*○○装置作成*

平成28年度：

平成29年度：

平成30年度：

（２）*○○モデル動物開発と検証*

平成28年度：

平成29年度：

平成30年度：

（３）*○○イメージング解析*

平成28年度：

平成29年度：

平成30年度：

３．実施体制

（１）研究開発代表者・事業化担当責任者・研究開発分担者

研究開発代表者

氏名 ：

所属・役職 ：

電話 ：XX-XXXX-XXXX（内線XXXX）

E-mail ：＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿

事業化担当責任者

氏名 ：

所属・役職 ：

電話 ：XX-XXXX-XXXX（内線XXXX）

E-mail ：＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿

研究開発分担者*（全ての研究開発分担者について記載ください）*

氏名 ：

所属・役職 ：

電話 ：XX-XXXX-XXXX（内線XXXX）

E-mail ：＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿

（２）代表機関担当者（*代表機関名*）*（それぞれの担当者を設定して記載する）*

契約担当者

氏名 ：

所属・役職 ：

電話 ：XX-XXXX-XXXX（内線XXXX）

E-mail ：＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿

経理担当者

氏名 ：

所属・役職 ：

電話 ：XX-XXXX-XXXX（内線XXXX）

E-mail ：＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿

知的財産担当者

氏名 ：

所属・役職 ：

電話 ：XX-XXXX-XXXX（内線XXXX）

E-mail ：＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿

（３）分担関担当者（*分担機関名*）*（分担機関がある場合は（３）、（４）、、、とし、全ての分担機関について記載ください）*

契約担当者

氏名 ：

所属・役職 ：

電話 ：XX-XXXX-XXXX（内線XXXX）

E-mail ：＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿

経理担当者

氏名 ：

所属・役職 ：

電話 ：XX-XXXX-XXXX（内線XXXX）

E-mail ：＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿

知的財産担当者

氏名 ：

所属・役職 ：

電話 ：XX-XXXX-XXXX（内線XXXX）

E-mail ：＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿

（３）体制図

*・研究開発体制、契約締結状況を記入してください。記載方法は下記のとおりです。*

*角丸四角形：大学等、楕円：企業、長方形：AMED、点線矢印：契約の流れ*

*二重矢印線：試料、情報等のやりとり、分担（内容を記載）*

*各機関ごとに、「研究項目」、研究実施場所（住所）を記載すること。*

*・****A4用紙１ページ以内****で記載してください。*

|  |
| --- |
| 【記載例】  データ提供  解析結果  研究開発分担者  *所属*　*氏名*  「*xxxxxxx*」  *研究実施場所*（*住所*）  技術提供  試料提供  研究開発代表者  *所属*　*氏名*  「*xxxxxxxの開発*」  *研究実施場所*（*住所*）  研究開発分担者  *所属*　*氏名*  「*xxxxxxx*」  *研究実施場所*（*住所*）  医療機器試作  研究開発分担者  *所属*　*氏名*  「*xxxxxxx*」  *研究実施場所*（*住所*）  試作部品  AMED  解析技術提供 |

（４）研究実施場所

*提案された研究開発を実施する場所（代表機関、分担機関毎）とその選定した理由を記載してください。*

*（記載例）*

*・○○○○○研究所*

*選定理由　：□□□□□*

*・△△△△△株式会社*

*選定理由　：□□□□□*

*（一部本邦外で実施する場合、その理由を記述してください。）*

（５）研究開発関係者経歴

研究開発代表者経歴書（別添2）、主要研究員経歴書（別添3）を参照。

*研究開発代表者の研究経歴等を、研究開発代表者経歴書（別添2）に記入し提出して下さい。*

*本事業に関係する主要研究員（事業化担当責任者および研究開発分担者など分担機関毎に1名以上）を、研究経歴等を主要研究員経歴書（別添3）に記入し提出してください。*

（６）主な設備・装置等の保有状況

*本研究開発を進めるに当たって必要と考えられる主な設備・装置について、応募者が保有するもの／保有していないもの（本事業期間中に購入予定のもの）とその用途を記載してください。*

・保有しているもの

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設　備　名　称 | 保有者 | 内容（使用目的・仕様等） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

・保有していないもの（購入／作成予定）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設　備　名　称 | 費用 | 内容（使用目的・仕様等） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

４．担当別　研究開発概要

*研究開発代表者、研究開発分担者毎に、担当する研究開発の概要を記載してください。*

（１）研究開発代表者　氏名：

　　研究開発代表者　所属　役職：

分担研究開発課題名（実施内容）：

①研究開発の目的および内容

*研究開発の目的および内容を300字程度で簡潔にまとめてください。*

②研究開発項目、マイルストーン及び研究開発方法

*「２．研究開発の内容」に記載の内容を達成するために当該担当者が実施する研究開発の項目、マイルストーン（達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項）、及び達成のための方法を年度毎に記載してください。*

　　平成28年度：

　　平成29年度：

　　平成30年度：

③担当する研究開発を実現可能な根拠

*①、②に記載した研究開発内容に関係する研究開発実績等、担当する研究開発を実現可能と考える根拠を記載して下さい。*

*※研究開発分担者が複数いる場合は、以下の項目をコピー＆ペーストしてください。*

（２）研究開発分担者　氏名：

　　　研究開発分担者　所属　役職：

分担研究開発課題名（実施内容）：

①研究開発の目的および内容

*研究開発の目的および内容を300字程度で簡潔にまとめてください。*

②研究開発項目、マイルストーン及び研究開発方法

平成28年度：

　　平成29年度：

　　平成30年度：

③担当する研究開発を実現可能な根拠

５．研究開発の主なスケジュール

*・「研究開発項目」は「２．研究開発の内容」の項目（（１）（２）…の記載項目）と文言・順序ともに一致させてください。*

*・項目別のスケジュールや担当者が分かるように記載してください。*

*・期間を表す矢印や実施時期を示す印の上に、各年度に投入する予算（直接費であって人件費込み、税込み）を記入して下さい。*

*・１ページ以内で記載してください。*

（単位：百万円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 担当者  氏名 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| *（１）○○装置作成*  *・○○装置仕様策定*  *・○○装置試作*  *・動物実験（ブタ）*  *・薬事相談* |  | ●●．● | ■．■  ▲．▲ | ■．■ |
| *（２）○○モデル動物開発と検証*  *・○○モデル動物の開発*  *・○○モデル動物の検証* |  | ●●．● | ●●．●  ■．■ | ■■．■ |
| *（３）○○イメージング解析*  *・○○関連データの取得*  *・○○ソフトの開発* |  | ▲．▲ | ■．■  ▲．▲ | ■．■ |
| 合計額 |  | ●●●.● | ●●●.● | ●●●.● |

1. 消費税は、研究開発項目ごとに内税で計上してください。また、日本国以外に本社又は研究所を置く外国企業等において、その属する国の消費税相当額がある場合にも研究開発項目ごとに含めて計上してください。
2. 提案に当たっての参考として、研究開発期間３年間の総事業費は、２億円～３億円を目安として、提案者が基本計画に沿ってプロジェクトを遂行するために必要な研究開発費を計上してください。

なお、予算規模は社会・経済状況・研究開発費の確保状況等によって変動し得ることもあり、総事業費規模についてはAMEDが確約するものではありません。

６．経費

【全体表】

*・【内訳表】の各年度の合計額を記入してください。本表の各年度の合計額は、提案書表紙「希望する研究開発費（円）」の各年度の「研究開発費合計額」と一致します。*

*・分担機関が４機関以上ある場合は、適宜、本表の行を追加してください。*

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 機関名 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 合計 |
| 代表 | ○○○○○ | XX,XXX,XXX |  |  |  |
| 分担１ | △△△△△ | YY,YYY,YYY |  |  |  |
| 分担２ |  |  |  |  |  |
| ･･･ |  |  |  |  |  |
| 合計 | |  |  |  |  |

【内訳表】

（１）代表機関

*・研究開発代表者の所属機関の研究開発費の内訳を記入してください。当該研究機関に所属する研究開発分担者の研究開発費も本表に含まれます。*

*・間接経費割合と係る各年度の間接経費額を記入してください。*

*・提案書表紙「希望する研究開発費（円）」の「うち、直接経費」は、本表の「直接経費小計」の全機関分の合計額を記載してください。*

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 機関名：○○○○○ | | | | （単位：千円） |
| 大項目 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 直接経費 | 物品費 |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |
| その他 |  |  |  |
| 直接経費小計 | |  |  |  |
| 間接経費（直接経費の　【30】％以内） | |  |  |  |
| 合計 | |  |  |  |

（２）分担機関１

*・分担機関の研究開発費の内訳を、機関ごとに記入してください。分担機関が複数ある場合は、本項をコピー＆ペーストし、（３）以降に記入してください。*

*・枝番は、分担機関ごとに「１」から順に付番してください。（例：分担機関１、分担機関２）*

*・間接経費割合と係る各年度の間接経費額を記入してください。*

*・提案書表紙「希望する研究開発費（円）」の「うち、直接経費」は、本表の「直接経費小計」の全機関分の合計額を記載してください。*

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 機関名：○○○○○ | | | | （単位：千円） |
| 大項目 | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成30年度 |
| 直接経費 | 物品費 |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |
| その他 |  |  |  |
| 直接経費小計 | |  |  |  |
| 間接経費（直接経費の　【30】％以内） | |  |  |  |
| 合計 | |  |  |  |

*※分担機関が複数ある場合は、（３）以降に続けて記入してください。*

７．研究開発実績・論文・著書リスト

本提案に直接関連する研究開発の実績およびその位置づけ等を簡潔に説明してください。研究開発代表者及び研究開発分担者ごとに、論文・著書リストについては、本提案に直接関連する政策提言(寄与した指針又はガイドライン等)、学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去３年間、５報以内）について記入してください。

【本提案に直接関連する研究開発の実績およびその位置づけ等】

|  |
| --- |
| *・先行技術と本提案技術との関係や本提案技術の優位性を明らかにするように記載*  *・図表などを用いても可* |

【研究開発代表者の論文・著書リスト】

|  |
| --- |
| *・主なもの（過去3年以内かつ５報以内）*  *・著者(著者は全て記入してください。)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ（最初と最後のページ）・発表年* |

【研究開発分担者の論文・著書リスト】

|  |
| --- |
| *・主なもの（過去3年以内かつ５報以内）*  *・著者(著者は全て記入してください。)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ（最初と最後のページ）・発表年* |

８．特許リスト・他者知的財産状況

本提案に関連する特許権等知的財産権の取得及び申請状況について記載してください。

|  |
| --- |
| *出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日* |

また、他者の知的財産権に関する調査内容・調査結果・対処方針についても記載してください。

|  |
| --- |
| *・他者の知的財産に関する調査手法（調査対象としたデータベース、調査範囲など）と調査結果*  *・調査の結果、および本提案の妨げとなる恐れのある他者の知的財産があれば、その対処方針（ない場合、その旨を記載）* |

９．他制度での助成等の有無

研究開発代表者および研究開発分担者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入してください。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

＜注意＞

・現在申請中・申請予定の研究助成等について、本提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、この募集に関するお問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。

・他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

【研究開発代表者】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 受給  状況 | 研究課題名  (代表者氏名) | 研究  期間 | 役割  (代表/  分担) | (1)本人受給研究費  〃 (期間全体)  (2) 〃 (平成28年度 予定)  (3) 〃 (平成27年度 実績) | エフォート  (％) |
| *科学研究費補助金 (基盤研究C)* | *受給* | *○○○○○*  *(○○○○)* | *平成25.4*  *－*  *平成28.3* | *代表* | *(1) 5,000千円*  *(2) 1,000千円*  *(3) 2,000千円* | *10* |
|  |  | () |  |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) － |  |

【研究開発分担者】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 受給  状況 | 研究課題名  (代表者氏名) | 研究  期間 | 役割  (代表/  分担) | (1)本人受給研究費  〃 (期間全体)  (2) 〃 (平成28年度 予定)  (3) 〃 (平成27年度 実績) | エフォート  (％) |
|  |  | () |  |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) 千円 |  |
|  |  | () |  |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) － |  |

１０．倫理面への配慮

（１）遵守すべき研究に関係する指針等

*研究開発の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」を「■」と記載してください。複数の指針等が該当する場合は、それぞれ「■」を記載してください。*

　　　□　再生医療等の安全性の確保等に関する法律

　　　□　人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成27年4月1日施行予定）

　　　□　ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針

　　　□　遺伝子治療臨床研究に関する指針

　　　□　動物実験等の実施に関する基本指針

　□　その他の指針等（指針等の名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　（２）本研究開発期間中に予定される臨床研究の有無

*臨床研究の有無について該当する方の「□」を「■」と記載してください。*

　　　□　有

□　無

　　　※「有」の場合は、予定される内容を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 対象疾患 | 予定される内容、実施時期、実施医療機関 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（３）人権の保護および法令等の遵守への対応

・*相手方の同意・協力を必要とする研究開発、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究開発、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究開発など法令等に基づく手続きが必要な研究開発が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。*

*・例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究開発・実験などが対象となります。*

*・該当しない場合には、その旨記述してください。*

１１．事業化計画

（１）研究開発成果の事業化計画

「研究成果の事業化計画書」（別添４）を参照。

*研究開発成果が産業へ及ぼす波及効果、研究開発成果を実用化・事業化する計画、実用化・事業化時期、提案者の実用化・事業化能力等につき、「研究開発成果の事業化計画書」（別添4）に記載してください。（別添４）の書き方の詳細は（別添４）をご覧下さい。*

1. *公募の際の提案書に、その時点での事業化計画を記載していただきます。*
2. *本提案が採択された場合、内容の変更を行う必要が生じたときには、変更内容についてAMEDの本プロジェクト担当部と事前に協議して頂き、変更したものを提出していただきます。*

１２．体制内における知的財産に関する取決め・提案時に大枠合意できた内容

*提案時点において連名提案者間で合意済みのあるいは大枠合意できているものや、現時点で未合意であり、契約締結時やその後１年の間に協議する事項等について、例えば下記のような例を参考に記載してください（例えば、下記のうち、既に大枠の合意がなされているものにチェックを入れるなどでも構いません）。*

*□秘密事項の取り決め，秘密漏洩防止、技術情報流出防止手段*

*□共有特許の権利持ち分比率・決定方法*

*□特許権等の帰属・決定方法*

*□特許権等の帰属や持ち分の決定を円滑に行う具体的な実施手段、実施タイミング（出願前に連名提案者間での会議によって決定する、等の手段・タイミング）*

*□共有特許の実施*

*□参加者・非参加者への知財実施許諾可否*

*□発明・発表のフロー等情報管理*

*□事業者の脱退時／新規参加事業者の取扱い*

*□参加者間実施許諾の内容*

*（□成果の特許権・情報・ノウハウ等、□開始前から各者が有する特許権・情報・ノウハウ等）*

*□試料・サンプルの提供*

*□ライセンス料の考え方*

*□出願等費用の負担方法　（AMEDの直接費用には計上できません）*

*□プロジェクト終了後の取扱い*

１３．知的財産権の帰属

*希望する場合は「■」、希望しない場合は「□」と記載してください。*

■　産業技術力強化法第19条1項に規定する四項目を遵守すること、本研究開発成果に係る発明を行った時はAMEDが実施する知的財産権に関する調査に回答することを条件として、知的財産権は全て研究機関に帰属させ、活用することを希望する。